

腐敗・破たんのルーツは沼田元県政 問われる「与党」自民会派の責任

40億円不正経理問題といい、60億円第三セクター破たん問題といい、そのルーツは5期20年（1980～2000年度）の沼田県政にあります。議会としてのもともな審議を放棄して県官僚と手を組んできた自民会派の責任も厳しく問われるべきです。県官僚の隠蔽体質「八百長と芸芸会」県議会の改革が緊急の課題です。

40億円 県不正経理問題

私は県議会内に設置された不正経理調査特別委員会（17名で構成）の一員として、正月休みを返上し、ファイルの厚さだけで2mに及び膨大な調査資料と格闘し、当局のずさんな調査の実態を質し、「臭いものに蓋」の姿勢が露骨な森田知事と自民会派を厳しく批判してきました。

県民負担3億9400万円

国庫返還金6億2900万円のうち、3億9400万円を県民負担としています。しかし適正処理していれば国に返還する必要の無いものです。県民にとって「税金の二重払い」に他ならず県民にツケをまわすのは許されません。

調査放棄！返還なし

2002年度以前の不正経理分については、帳簿類がないとして県は調査することを放棄しています。2003年度当初のプール金が3億4000万円あることは、2002年度以前から少なくとも2003年度以降と同様の不正経理が行われていたことを示しています。また、沼田県政時代の1997年1月の内部告発文書は、1996年度までに50億円を楽に超える官官接待、カラ出張などが行われてきたことを指摘しています。

しかし、当時の沼田知事は内部告発に蓋をし、不正を隠蔽しました。「当時、厳格な自主調査を指示していれば、今回のような事態が回避された可能性がある」と、12月県議会で総務部長は答弁しています。しかし、森田知事は一切の調査を拒否しました。

検討課題山積み

「ウミを出し切る」どころか「臭いものに蓋」の森田知事と自民会派

自民会派は特別委員会での審議を3月末日で打ち切ることを強行採択しました。しかし、不正経理問題は、その全容が未だ明らかではなく、検討すべき課題が山積みしています。

- 課題1. 基本となる業者帳簿データが、委員会に情報提供されないこと。
- 課題2. 調査対象額のほぼ3分の1にあたる約23億円は、用途不明のまま。
- 課題3. 今回の不正経理のルーツであり、2002年度以前の数十億円規模とも言われる不正経理の調査が行われておらず、県民への道義的責任が明らかにされていない。
- 課題4. 警察本部、外郭団体の調査は完了していない。
- 課題5. 総務部の財政・人事管理部門への庁内接待と裏金づくりなどを指摘する「内部告発文書」が2月に届けられたが、検証作業は未着手。
- 課題6. 県議会として、なぜこの不正をチェックできなかったのかを検証し、議会として本来の監視機能を発揮するための方策を検討することもこの委員会で求められているのに、それができていない。

内部告発文書が届けられたが…

2月18日にわが会派の吉川県議に内部告発文書が届けられました。総務部の人事、財政をめぐる県県接待と裏金づくりなどが指摘されていました。

しかし、県は、「具体性、客観性を証明していない」「内部通報の体裁がない」として調査、検証を行うことを拒否しました。97年1月の内部告発に蓋をした愚を繰り返し

てはなりません。通報者が文書の中で記した「今回も、本来ならば、昨年11月に一部改正された公益通報制度に則り、実名で多くの職員の思いを公にすべきと考えましたが、現実には、総務課人事当局の苛烈な追及が待っており、当局の犯人探しを回避するためにも、やむを得ずペンネームによる投稿とせざるを得ませんでした」という言葉をしっかり受け止めなければいけません。

議会議ってこんなことやってるの？

もっと考えて投票しなくちゃね

かずさ第三セクター破たん問題

不正経理問題で揺れる千葉県ですが、1月25日には第三セクター（株）かずさアカデミアパークの経営破たん（民事再生申請）が明らかとなりました。破たんに伴う県民負担は60億円といわれています。

県民負担60億円

無謀な計画に1100億円投入

この経営破たんについて、新聞は「バブル期の計画 甘さ露呈」「税金穴埋め途絶え」「借金体質克服できず」「歴代社長は県職員・OB」などの見出しで報じました。

この第三セクターは、県開発の拠点の一つで木更津市、君津市両市にまたがる研究開発都市「かずさアカデミアパーク」（1991年3月着工、第1期地区278㌔）の中核施設（ホテル、スポーツ施設など）を運営するため1991年に開業しました。

しかし、開業以来18年間赤字が続き、県は最大の出資者として返還される見込みがないのに損失補償や年3～5億円の貸付を続けてきました。

県は、研究開発拠点づくり（かずさアカデミア構想）に2009年までに1100億円を投入してきましたが、民間用地149㌔のうち66㌔が未利用のままです。

こうした企業立地が進まないことが今回の破たんの要因ですが、そもそも房総半島の山中に第一級の研究所を集めること自体が無謀な計画でした。

歴代県幹部の責任の追及を

実は「かずさアカデミアパーク」という研究開発拠点計画自体が、東京湾横断道路建設をにらんで土地を買い占めて経営難に陥っていたJ・D社（ジャパン・デベロップメント、新日鉄子会社）に対する当時の沼田県政による救済策と批判された経緯があります。J・D社は県より先に「学園研究都市構想」を示し、県幹部もJ・D社に天下りしていたことも指摘されています

県庁内の会議で、ある職員が「かずさアカデミアパーク」の見直しを提案したところ、ある幹部から「お前は左遷されたいのか!」と脅かされたという話もあります。こうした良識ある批判を封じ込んで無謀な計画を押し進め、第三セクターの赤字も放置し県民に負担を押しつける、そうした幹部が出世し、退職後は外郭団体に天下るのが千葉県庁の実態です。

皆様のご意見をお待ちしております

えっ！そうなの？知らなかった。

正直に言うと左遷される…？